

Viエディタを使用してExpresswayファイルを確認する

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[基本的なLinuxコマンド](#)

[Viエディタの基本](#)

[Viエディタの使用方法](#)

[ファイルへのアクセス](#)

[Viエディタでファイルを保存する方法](#)

[WinSCPの基本](#)

[WinSCPテキストエディタの使用方法](#)

[確認](#)

[ファイルの変更を確認する方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、でファイルにアクセスして編集する手順について説明します。VI Editor Expresswayに接続し、別の方法で WinSCP ソフトウェア。

前提条件

要件

- Expresswayに関する基礎知識。
- Expresswayのデフォルト設定。
- WinSCPがPCにインストールされている。

使用するコンポーネント

- バージョンX14.0.3のExpressway-Cサーバ。
- Windows 10 PC.

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

基本的なLinuxコマンド

コマンドを実行して、パッケージのインストールから、ユーザ管理、ファイル操作に至るまで、さまざまなタスクを実行できます。

`pwd` command : を入力します。 `pwd`コマンドを使用して、現在のディレクトリのパスを検索します。

`cd` command : を入力します。Linuxのファイルとディレクトリを移動するには、 `cd`コマンドを使用して、アップグレードを実行します。

`ls` command : を入力します。「 `ls` コマンドは、システム内のファイルとディレクトリを一覧表示します。現在のディレクトリの内容を表示するには、フラグまたはパラメータなしで実行します。

`cat` command: ファイルの内容を一覧表示し、組み合わせて、標準出力に書き込みます。を実行するには `cat` コマンド、タイプ `cat`、 ファイル名とその拡張子が後に続きます。

使用可能なコマンドはいくつかありますが、このドキュメントでは取り扱いません。

Viエディタの基本

「 `Vi Editor` ツールはインタラクティブなツールで、ファイルの編集にファイルに加えられた変更が画面に表示されます。イン `Vi Editor`を選択すると、カーソルがファイル内を移動するときに単語を挿入、編集、または削除できます。

「 `Vi Editor` 次の2つのモードがあります。

- `Command Mode` : を入力します。コマンドモードでは、ファイルに対してアクションが実行されます。`Vi Editor`がコマンドモードで起動します。ここでは、入力した単語はViエディタのコマンドとして機能します。コマンドを渡すには、コマンドモードである必要があります。
- `Insert Mode` : を入力します。挿入モードでは、ファイルにテキストを挿入できます。`Esc`キーを押すと、挿入モードからコマンドモードに移行します。

デフォルトでは、 `Vi Editor` で始まる `Command Mode`を参照。テキストを入力するには、 `Insert Mode`文字を入力してください `i` をクリックして挿入モードに変更します。

Viエディタの使用方法

でファイルを開くには `Vi Editor`を使用するには、最初にディレクトリパスを知っておく必要があります。この記事では、次の名前のファイルを使用します。 `test-vi` が作成されると、パスは `/tandberg/etc`を参照。パスを見つけて特定のディレクトリに移動する手順を含むイメージを参照してください。Expresswayにセキュアシェル(SSH)でアクセスし、`root`アカウントを使用していることを確認します。

```
10.15.13.15 - PuTTY
~ #
~ # ls
bramble etc licensemanager lost+found portforward trafficserver
crash images locale oauthlocal provisioning upgrade
docker ivy log persistent tbl web
~ #
~ # cd etc
~/etc # ls
access.conf.d nsswitch.conf
addn-hosts openldap
collectd openssl
collectd.conf opt
collectd.conf.bak pam.d
config.oldversioninfo passwd
console_gids passwd.d
consoleinactivitytimeout.conf postinstall
crashreportd.conf postinstall-crossgrade.d
currenttimezone postinstall.current-crossgrade.d
date_time_zonespec.csv postinstall.current.d
default postinstall.d
dnsmasq.conf postinstall-scripts.d
dnsmasq.conf.d role_mapping
dnsmasq-resolv.conf security
group shadow
hardware_types.xml smb-ldap.conf
http_dynamic_ssl.conf systemunit.xml
hwconfig systemup-timestamp
login.defs templates
logrotate.d test-vi
monit ttlog.conf
mountcount zoneinfo
mountcount.last
~/etc #
~/etc # pwd
~/andberg/etc
~/etc #
```

ls command used to list files in current location

cd command used to move to etc directory

ls command used to list files in new location

test-vi is the file need it in this case

pwd command used to know the path location

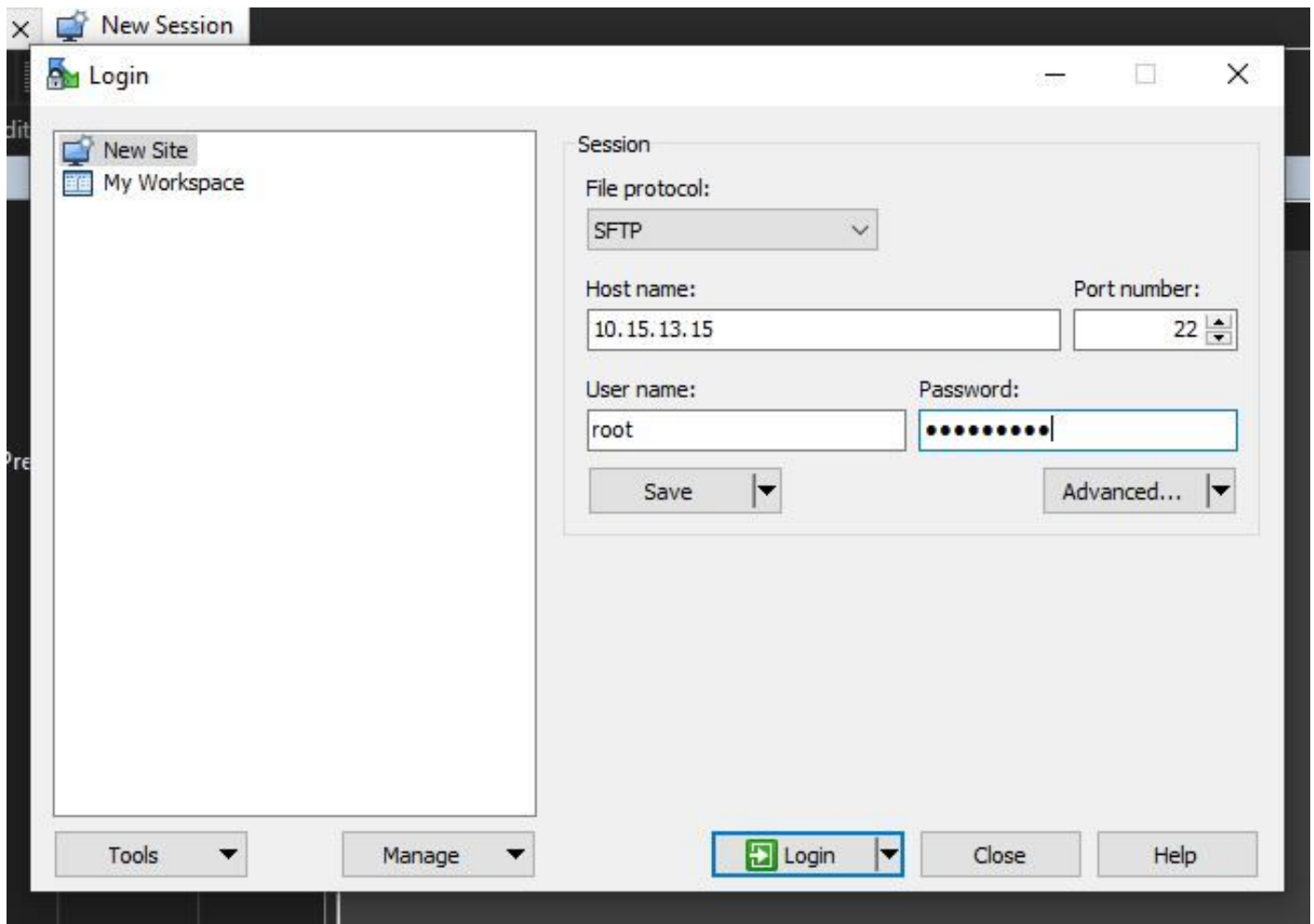
pwd command output

ファイルへのアクセス

正しいディレクトリに移動したら、vi <file-name>コマンドを実行してディレクトリを開きます。デフォルト Vi Editor は、Command Mode : を入力します。

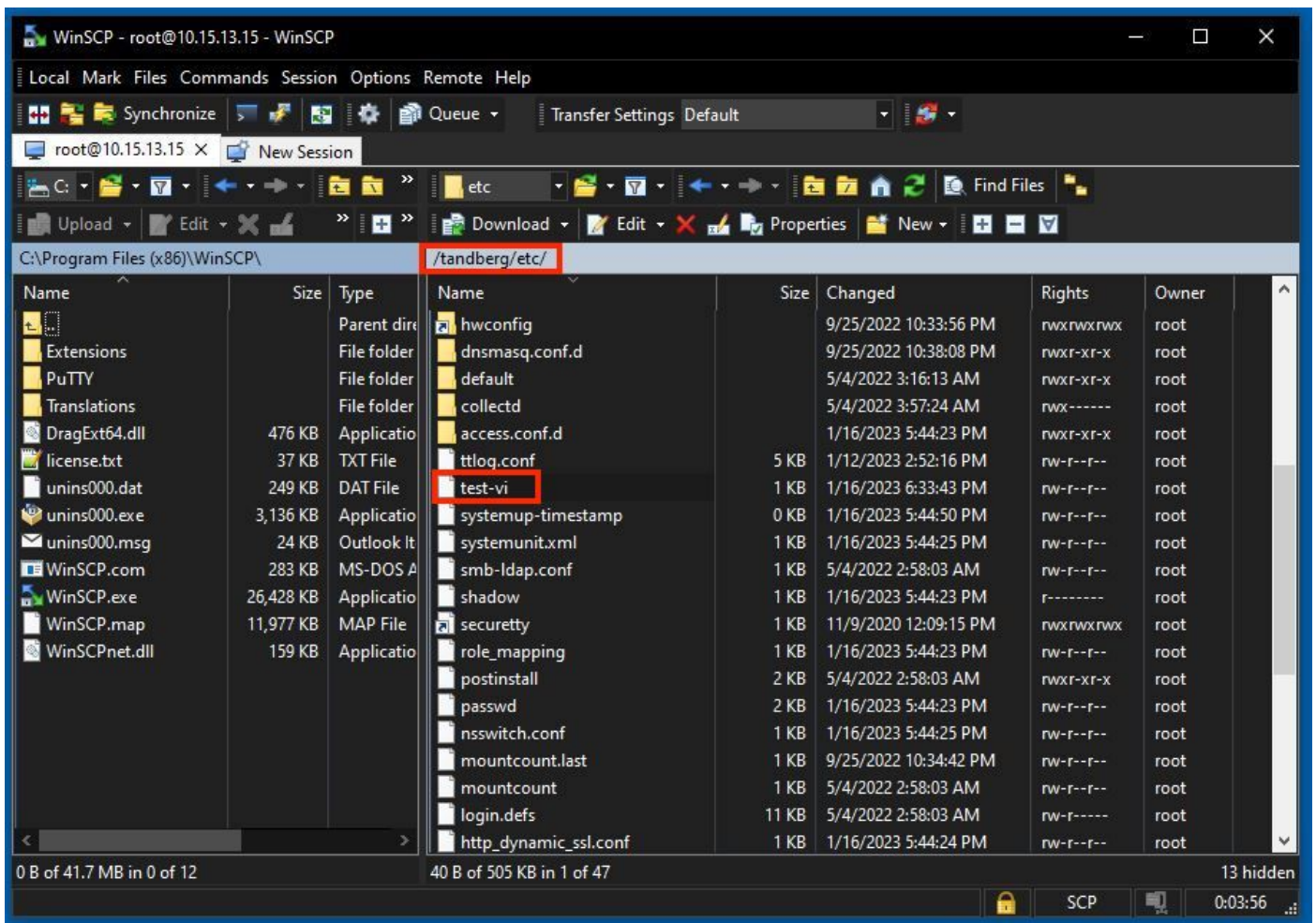
```
10.15.13.15 - PuTTY
~/etc #
~/etc # vi test-vi
```

プレス Enter ファイルにアクセスするには、Vi Editorを参照。出力にはファイル内の情報が表示され、必要に応じて変更できます。

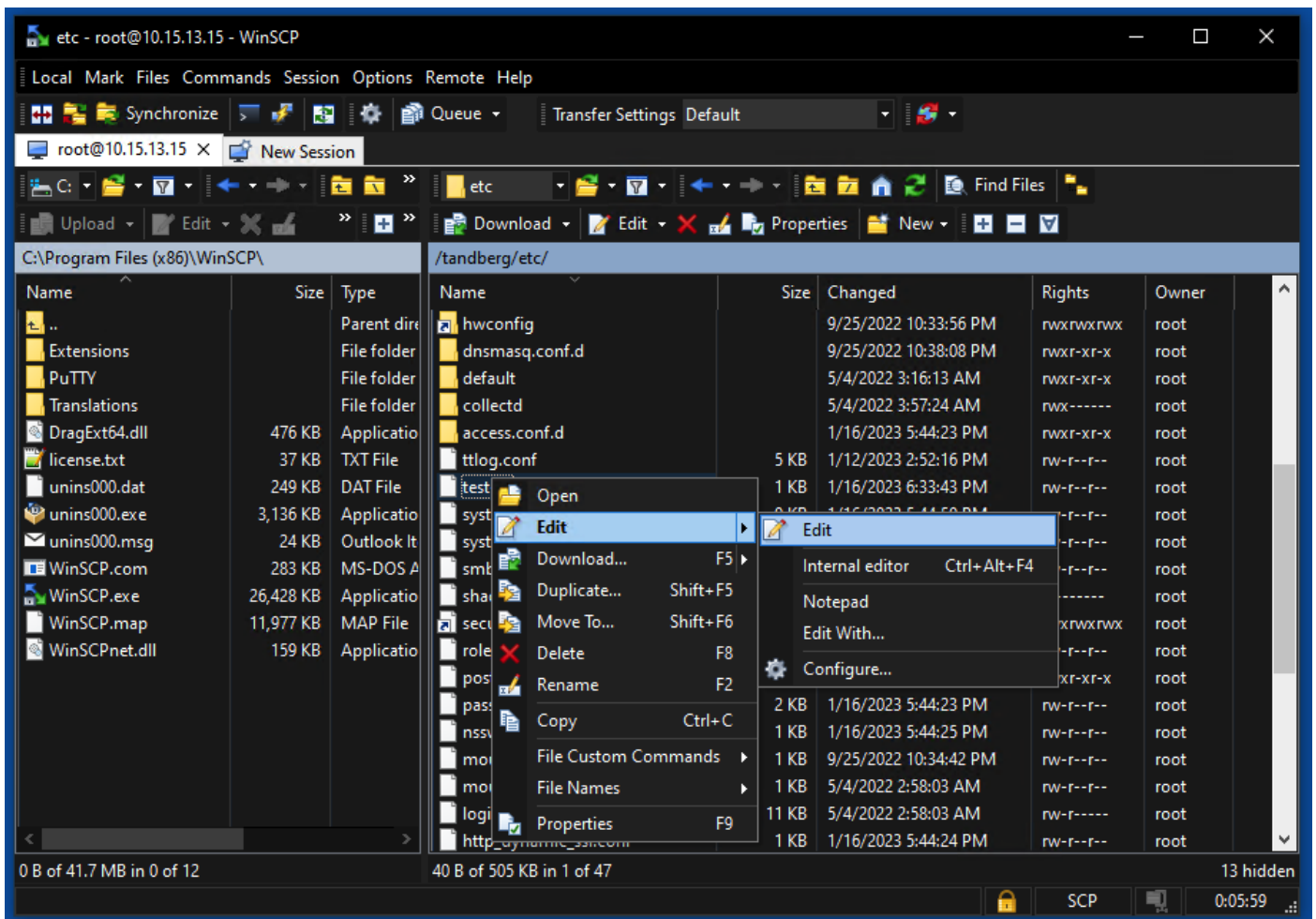


WinSCPを使用すると、Expressway内をWindows PCのWindowsフォルダのように移動できます。次の図は、パス上のファイルを示しています /tandberg/etc ここで、 test-vi ファイルが保存されます

。



ダブルクリックするか、右クリック>編集>編集をクリックして内部エディタを開き、ファイルを編集して同時に保存できます。



次の図は、同じファイル出力に新しい行を追加したものです。 test line 6 added by the use of the WinSCP editor.

新しい行を含むファイルは、同じ行を使用して保存できます。 WinSCP テキストエディタ。


```
/tandberg/etc/test-vi - root@10.15.13.15 - Editor - WinSCP
test line 1
test line 2


test in line 4
test line 6 added using WinSCP editor|
Line: 6/6 Column: 38 Encoding: 1252 (ANSI - La Modified
```

確認

ファイルの変更を確認する方法

Viエディタを使用する方法は1つですが、使用できる別のLinuxコマンドがあります。このコマンドでは、ファイルの内容を標準出力ストリームに出力することしかできません。

を実行します。 `cat test-vi command` をファイルと同じディレクトリに置きます。

 注：パスは `cat command` を使用します。ディレクトリに移動するには、`cd command` を参照。例：
`cat /tandberg/etc/test-vi.`

```
10.15.13.15 - PuTTY
~/etc #
~/etc # cat test-vi
test line 1
test line 2

test in line 4
test line 6 added using winSCP editor
~/etc #
```

関連情報

[基本的なLinuxコマンド](#)

[基本的なViコマンド](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。